



第349号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



ほかとは比べず



カット：本多紘子

立春とは名ばかりの寒い日が続きます。皆様、如何お過ごしでしょうか。節分には豆まきをなさいましたか。冷たい寒気を鬼に諭え、暖かい春を福と呼び、「鬼は外 福は内」と言いながら豆まきしたのも、寒い寒い冬を過ごした昔の人の春を待つ気持ちの表れですね。

『光陰矢の如し』という諺どおり、あつと言う間に新年の1月が過ぎていきました。受験生を抱えている親御様たちは大変に神経を使っていることと思います。大学受験、高校受験とそれぞれ厳しい受験競争に打ち勝たなければ成らないので、親子共々、受験から早く開放されたいと願っていることでしょう。新年から猛烈にインフルエンザが流行しているのです、特に体調に気をつけていたいただきたいものです。

大相撲の初場所東横綱の稀勢の里が1月16日に、横綱在位2年での現役を引退したのは寂しいですね。新横綱だった2017年春場所での劇的な逆転優勝を果たした稀勢の里ですが、この時痛めた武器の左腕に力が戻らず、8場所連続休場を記録しました。その後も成績が奮わず現役を引退。久方ぶりの日本人横綱だったので惜しむ声が多かったが、横綱として誰よりも悩み苦しんだ結果で、とても立派でした。

テニスの四大大会の一つ全豪オープンで、女子シングルス決勝に進

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

出した21歳の大阪なおみ選手は1月26日にメルボルンで、チエコのクビトバ選手と対戦し、激闘で勝ち優勝しました。昨年の全米オープンの優勝に次ぐ快挙です。世界ランキングも1位となり、東京オリンピックでも金メダルが期待されます。大阪なおみ選手は感情の起伏が激しく、忍耐のコントロールが効かず、上位選手と対戦すると自滅して勝てなかったが、ドイツ人コーチのサーシャ氏との出逢いが彼女の精神面を成長させました。コーチは、選手のことを真剣に考えて下から下から支え、威張ることもなく彼女の身になって支えています。良き人との出逢いが、人間を大きく成長させ羽ばたかせるのですね。

『華厳経』に「万物と我と同根」とか「奇なるかな、奇なるかな、一切衆生、草木国土、悉く如来の智慧徳相を具有す」と有名な経文があります。ありとあらゆるものによって支えられ生かされてきた私の生命は、すべての物と同じ根によって生きています」とか「不思議だな、不思議だな、生きとし生きるもの、また草木国土、ことごとく仏様の智慧を戴いてすべてが光り輝いている」という意味で、人生とは良いときもあれば悪いときもあるが、どんなときも無意味な人生など一つもなく、「光り輝いている」と書かれているのです。

人の一生は曲がりくねった一本の道のように感じます。広いときもあれば、狭いときもあり、急な上り坂があれば、ゆっくりした下り坂もあり、前に延びる道筋がはつきり見えるときもあれば、暗闇に包まれ何も見えないときもあります。迷い、苦しみ、悩み、道に気づき、喜ぶ、そのどれもがあつてこそその人生だと言えます。江戸幕府を開いた徳川家康も「人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し」と忍耐に忍耐を重ねて、62歳の晩年で天下を治めました。

人生の失敗や挫折は辛いことですが、その辛い体験が人を育てていくように思えてなりません。無名のままで一生を送っても、この世で生きたことに意味があり光り輝いているのです。合掌(奥原曇龍)

『人生は有名になっても苦しいよ ほかとは比べず無名で感謝』 どんりゆう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・二月 六日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
三月 七日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話 086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



お釈迦様ものがたり 28

お釈迦様は六年間の苦行を離れ、セーナール村のスジャータという若い娘の捧げた滋養に富んだ乳粥の食事で体力を回復し、「さとりを開くまでこの座を立たない」と強い決心をして菩提樹の下で冥想に入ります。

『仏伝』によると、お釈迦様の成道(さとり)の完成)が近いことを知った悪魔が、これを阻止するためにさまざまな妨害をしたと言われています。悪魔はまず、自分の娘たちをつかわし、お釈迦様を誘惑しました。それでも心が動じないことを知ると、今度は武力をもって力づくで冥想を妨げましたが、冥想を乱すことはできませんでした。お釈迦様は如何なる悪魔の妨害にも負けなかったのです。この悪魔との戦いは、お釈迦様の心の中の煩惱との戦いを表しています。

やがてお釈迦様は、煩惱の象徴である悪魔を降伏させ(降魔)、真実の智慧を得て、仏陀と成られました。お釈迦様三十五歳、十二月八日、暁の明星が輝くころのことでした。「仏陀」とは、覚った者、真実に目覚めた者という意味です。さとりを開くことを成道と言いますが、成道とは道を完成することであり、真の人間の生き方やあり方の理想の道を完成したということです。

理想の境地のことを解脱とか涅槃とも呼ばれますが、お釈迦様は人生のありのままの姿を見極める(如実知見)ことによって、老・病・死の苦悩の原因は無明(煩惱)であると見抜き、それを解決する真実の道を完成されました。人間は自分の都合の良いように、若い、病み、死ぬことは出来ない。自我執着する私の心のあり方を転換し、人格の完成を目指すしながら、社会全体の幸福を願いつつ生きる道を仏教の理想とされたのです。

お釈迦様は、成道後、しばらくの間、冥想を続けられました。まず、さとりの境地を一人で楽しめたのです。合掌 (奥原曇龍)

寺の庭極寒の中に梅一輪 また一輪と春のともしび 田辺多恵子



1月13日住職の次女 唯の成人式の日家族とお寺で

ともしび法話

立春とは名ばかりの寒さが続きます。今年もインフルエンザが流行しています。受験生のいられる御家庭は心配ですね。長女の綾は社会人、弟の龍は大学4年、次女の唯は大学二年で今年の1月に成人式を迎えました。みんな元気で嬉しいです。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

謹賀新年

お寺のお子様たちも立派に成長なされ、感無量です。お子様の小さいときに子守に伺いましたことが懐かしく浮かびます。倉敷市西中新田 東 民子

「あなたがいてくれて 私はとても幸せです」(仏陀の魔法の言葉)

この言葉は私たちの心も身体も、相手も状況もすっかり変えることができます。岡山市中区米田 藤岡 貞賢

「友も去り施設に有りてありがたく」ともしびよみてこの世の幸と

大正八年生まれ 玉島 寶中まい子

平成の災禍は尽きず年新た 藤原智恵子

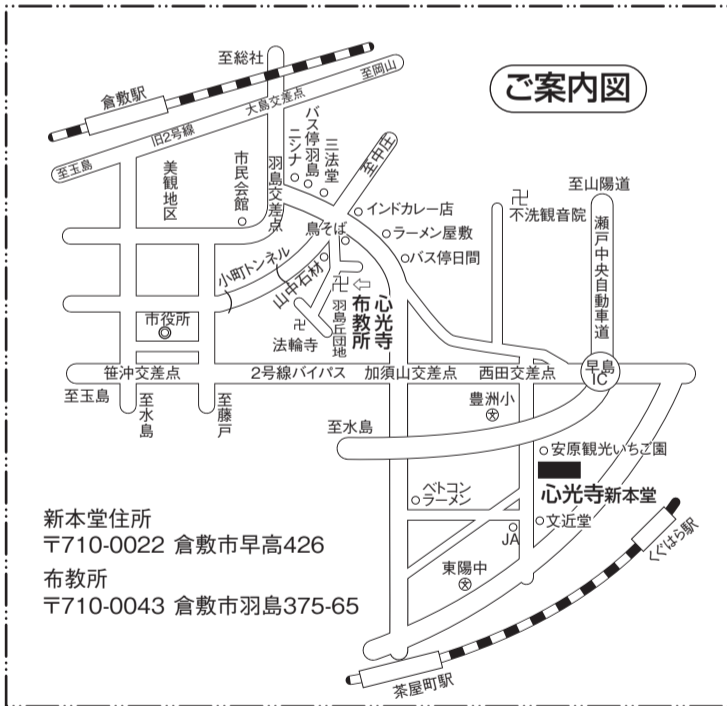
ともしび説法

日時・二月 六日「水曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
三月 七日「木曜日」 午後一時から午後四時頃まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

四月二十一日(日)・午前十一時から午後四時・永代経法要。
午前、ピアノ・マリンバ演奏、午後、法要儀式・仏教講演等。
五月 十五日(水)・午後一時から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成21〜23年、平成24〜26年、平成27〜29年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生を振り返ることが出来ます。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。

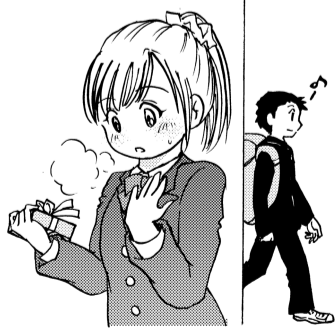


新本堂住所 〒710-0022 倉敷市早高426
布教所 〒710-0043 倉敷市羽島375-65

- ◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
- 倉敷市 荒木様 古谷様 河野様 田邊様 3千円 倉敷市 橋本様 4千円
- 倉敷市 塩崎路一様 松下智海様 総社市 細川カヨ子様 5千円
- 倉敷市 藤原力様 佐野十三男様 大島幸雄様 山形田鶴子様 1万円
- 倉敷市 山下稔様 岡山市 小川常夫様 1万円 倉敷市 重政修様 1万4千円

いよりの詩

いよいよ受験シーズンに突入だ
春とは名のみで寒さはつるる
冷え冷えとした外の景色
吹く風に粉雪も舞う
平静を装いながら心みだれ
本心より孤独を味わった
若者よ 孤独が人を育てるよ



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらうより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426

浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「349号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法が午後の日には茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方はお寺まで、ご連絡を下さい。合掌 心光寺 総代長 三村健